

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び 施設等整備状況調査結果について（令和3年度）

1. 調査の目的

本調査は、大学等の設置等が認可された学校法人に対し、その健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の附帯事項等が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握することを目的としている。

2. 調査の方法・内容

調査方法は、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会が、原則として、開設年度に入学した学生が卒業する年度（完成年度）までの間、認可を受けた者に対して書面調査を実施し、必要に応じて、面接調査又は実地調査により行っている。

調査内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）について行っている。

3. 令和3年度調査結果の概要

全ての調査対象学校法人（138法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人である4法人について実地調査を実施し、2法人について面接調査を実施した。

今回の調査の結果、指摘が付された学校法人は107法人であった（表1及び別添参照）。なお、具体的な指摘の例は以下のとおり。

- 資産総額変更登記、財務書類等が備え付けられていない又は備え付け遅延、代表権の登記が遅延している等、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：27法人）
- 理事会について、監事が出席していないものがあるが、監事の職務は、学校法人の業務や財産の状況全般に係る監査であることから、監事出席の上で開催することを求めるもの（是正：9法人）
- 学年進行中に設置計画が事前の協議なく変更されており、今後、あらかじめ協議を行うこと等を求めるもの（是正：5法人）
- 入学定員の未充足（0.7倍未満）の学科について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの（改善：48法人）※新設学科だけではなく、既設の学科も対象
- 経常的な収支が継続してマイナス（赤字）となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの（改善：27法人）

(表 1)

調査対象学校法人		1 3 8 法人
指摘が付された学校法人		1 0 7 法人
	法令違反	2 7 法人
	是正	1 4 法人
	改善	9 8 法人

4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書（以下、「履行状況報告書」という）を、学校法人として積極的に公開することが期待される。なお、設置認可と認証評価の有機的な連携の一助として、各認証評価機関に対しても、本調査の結果を参考送付する。

参 考

1. 用語の定義

種 類	定 義
附 帯 事 項	認可を受けた者が計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項（法令違反）	法令に抵触すると認められる事項があり、学校法人に必要な措置をとることを求める事項
指摘事項（是 正）	管理運営上著しく不適切と認められる事項があり、学校法人に早急な是正を求める事項
指摘事項（改 善）	寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていないと認められる事項があり、学校法人に改善を求める事項。（認可時の附帯事項及び指摘事項について、引き続き改善を求める場合を含む。）

2. 関係法令等

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

（平成19年文部科学省告示第41号）（抄）

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

○代表的な指摘事項及び指摘法人について

- (1) 資産総額変更登記遅延、財務書類等が備付けられていない又は備付け遅延、代表権の登記が遅延している等、法令の規定に抵触しているもの（法令違反：27法人）

法人名					
穴吹学園	医療創生大学	大阪滋慶学園	加計学園	金沢学院大学	共愛学園
享栄学園	響和会	高野山学園	国際ビジネス学院	タイケン学園	東京国際大学
東京農業大学	常磐大学	新潟総合学園	日通学園	濱名山手学院	藤田学院
松商学園	松山大学	武蔵野大学	本山学園	桃山学院	行吉学園
吉田学園	立正大学学園	柳城学院			

- (2) 理事会について、監事が出席していないものがあるが、監事の職務は、学校法人の業務や財産の状況全般に係る監査であることから、監事出席の上で開催することを求めるもの（是正：9法人）

法人名					
札幌大学	富澤学園	日通学園	鉄蕉館	武蔵野大学	松商学園
高野山学園	広島文化学園	沖縄大学			

- (3) 学年進行中に設置計画が事前の協議なく変更されており、今後、あらかじめ協議を行うこと等を求めるもの（是正：5法人）

法人名					
青淵学園	調布学園	大阪滋慶学園	西大和学園	日本教育財団	

- (4) 入学定員の未充足（0.7倍未満）の学科について、健全な法人経営の観点から改善を求めるもの（改善：48法人）

法人名					
東日本学園	吉田学園	光星学院	岩手医科大学	東北医科薬科大学	富澤学園
常磐大学	須賀学園	共愛学園	昌賢学園	秀明学園	青淵学園
医療創生大学	駒澤学園	松蔭学園	敬心学園	湘南ふれあい学園	新潟総合学院
北陸大学	国際ビジネス学院	佐久学園	松本学園	豊田学園	中京学院
越原学園	菊武学園	修文学院	柳城学院	享栄学園	永守学園
立命館	京都育英館	常翔学園	関西医科大学	藍野大学	大阪滋慶学園
園田学園	武庫川学院	行吉学園	高野山学園	響和会	加計学園
本山学園	穴吹学園	聖カタリナ学園	都築学園	福岡学園	永原学園

※新設学科だけではなく既設の学科も対象としている。

- (5) 経常的な収支が継続してマイナス（赤字）となっていることから、収支の改善を図り、経営基盤の安定を求めるもの（改善：27法人）

法人名					
札幌大学	淳心学園	光星学院	二戸学園	東北医科薬科大学	赤門宏志学院
群馬育英学園	和洋学園	三育学院	医療創生大学	駒澤学園	柏専学院
新潟総合学院	新田塚学園	大垣総合学園	南山学園	修文学院	柳城学院
享栄学園	ノートルダム女学院	大谷学園	園田学園	睦学園	奈良学園
藤田学院	加計学園	本山学園			

令和3年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象：138法人

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
1	愛知淑徳学園	H29	学部の学科増設	愛知淑徳大学	健康医療科学部健康栄養学科	特になし。	特になし。	特になし。
2	藍野大学	R2	専門職大学新設	びわこリハビリテーション専門職大学	リハビリテーション学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科)
3	暁学園	R2	学部の学科増設	四日市看護医療大学	看護学部臨床検査学科	特になし。	特になし。	特になし。
4	赤門宏志学院	H30	短大新設	仙台赤門短期大学	看護学科	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
5	朝日大学	H29	学部の学科増設	朝日大学	保健医療学部健康スポーツ科学科	特になし。	特になし。	特になし。
6	穴吹学園	R3	組織変更(専門職短大新設)	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(せとうち観光専門職短期大学観光振興学科)
7	医療創生大学	H28 H29 R1	大学の設置者変更 学部増設 学部増設	医療創生大学 医療創生大学 医療創生大学	理工学研究科(M)(D)、人文学研究科(M)(D)、薬学部、教養学部 看護学部 健康医療科学部	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。(代表権登記)	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(医療創生大学健康医療科学部作業療法学科、心理学部臨床心理学科)
8	岩手医科大学	H29	学部増設	岩手医科大学	看護学部	特になし。	特になし。	負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 寄附金について、任意であることを明記せずに募集していることから、改善すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(岩手医科大学歯学部歯学科、薬学部薬学科)
9	大垣総合学園	R1	学部増設	岐阜協立大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
10	大阪医科薬科大学	R3	学部増設	大阪医科大学	薬学部	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・今年度補正予算)】
11	大阪歯科大学	H29 H30	学部増設 研究科増設	大阪歯科大学 大阪歯科大学大学院	医療保健学部 医療保健学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
12	大阪滋慶学園	R3	学部増設	滋慶医療科学大学	医療科学部	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(滋慶医療科学大学医療科学部臨床工学科)
13	大谷学園	R1	研究科増設	大阪大谷大学大学院	薬学研究科(D)	特になし。	特になし。	理事の選任条項上の欠員があることから、その構成と寄附行為との整合性を図るよう対応すること。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
14	大手前学園	R1 R2	学部増設 短大の学科増設	大手前大学 大手前短期大学	国際看護学部 歯科衛生学科	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。
15	沖縄大学	R1	学部増設	沖縄大学	健康栄養学部	特になし。	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
16	開智学園	H29	学部増設	開智国際大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
17	加計学園	H30	学部増設	岡山理科大学	獣医学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に努めること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(岡山理科大学理学部応用物理学科、臨床生命科学科、工学部生命医療工学科、千葉科学大学薬学部薬学科、危機管理学部航空技術危機管理学科、動物危機管理学科)
18	片柳学園	R1 R3	研究科増設 研究科増設	東京工科大学大学院 東京工科大学大学院	デザイン研究科(M) 医療技術学研究科(M)	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
19	金沢学院大学	H30	学部の学科増設	金沢学院大学	文学部教育学科	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	特になし。	特になし。
20	関西医科大学	H30 H30 R3	学部増設 研究科増設 学部増設	関西医科大学 関西医科大学大学院 関西医科大学	看護学部 看護学研究科(M)(D) リハビリテーション学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
21	菊武学園	R3	学部の学科増設	名古屋産業大学	現代ビジネス学部経営専門職学科	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科、名古屋経営短期大学健康福祉学科)
22	岐阜済美学院	H29	学部増設	中部学院大学	スポーツ健康科学部	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。
23	共愛学園	R3	短大の設置者変更	明和学園短期大学	生活学科	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(共愛学園前橋国際大学短期大学部生活学科)
24	享栄学園	H29	学部増設	鈴鹿大学	こども教育学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 未整備の規程を整備すること。(情報公開に関する規程) 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(鈴鹿大学こども教育学部こども教育学科、鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科) 学生等の募集を停止中の組織については、速やかに検討を行い、廃止等の適切な措置を講ずること。(鈴鹿大学国際人間科学部国際学科)
25	共済学院	H29	学部の学科増設	日本保健医療大学	保健医療学部理学療法学科	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
26	京都育英館	H30	大学の設置者変更	北洋大学	国際文化学部	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・前年度決算・前年度監査報告)】 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(北洋大学国際文化学部キャリア創造学科) 学生等の募集を停止中の組織については、速やかに検討を行い、廃止等の適切な措置を講ずること。(北洋大学国際文化学部国際文化学科)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
27	京都外国語大学	H30	学部増設	京都外国語大学	国際貢献学部	特になし。	特になし。	特になし。
28	京都産業大学	H29 R1	学部増設 研究科増設	京都産業大学 京都産業大学大学院	現代社会学部 京都文化科学研究科（通信教育課程）（M）	特になし。	特になし。	特になし。
29	共立女子学園	R2	学部増設	共立女子大学	ビジネス学部	特になし。	特になし。	特になし。
30	響和会	R3	組織変更（専門職大学新設）	和歌山リハビリテーション専門職大学	健康科学部	備付け及び閲覧に供すべき財務関係書類のうち備付け及び閲覧に供されていない書類があることから、速やかに備付け及び閲覧に供すること。（役員に対する報酬等の支給の基準）	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 未整備の規程を整備すること。（役員に対する報酬等の支給の基準） 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科）
31	久留米大学	H29	学部増設	久留米大学	人間健康学部	特になし。	特になし。	特になし。
32	群馬育英学園	H30	大学新設	育英大学	教育学部	特になし。	特になし。	監事監査について、教学監査が実施されていないため、今後は適切に実施するとともに、非常勤の監事が日々の法人業務の状況を十分に把握できるよう、その支援内容をさらに充実させること。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
33	敬心学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	東京保健医療専門職大学	リハビリテーション学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科）
34	研伸学園	H29	大学新設	一宮研伸大学	看護学部	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。
35	光星学院	R1	短大の学科増設	八戸学院大学短期大学部	介護福祉学科	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（八戸学院大学短期大学部介護福祉学科）
36	高知学園	R1 R2	専門職大学新設 大学新設	高知リハビリテーション専門職大学 高知学園大学	リハビリテーション学部 健康科学部	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
37	甲南女子学園	H30	学部増設	甲南女子大学	医療栄養学部	特になし。	特になし。	特になし。
38	高野山学園	R3	学部の学科増設	高野山大学	文学部教育学科	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	理事と監事が別法人等で上下関係にあることから、利益相反を適切に防止することができる者を選任するなど、監事の独立性を担保できるよう見直すこと。 教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（高野山大学文学部密教学科、教育学科）
39	国際医療福祉大学	H29 H30 H30	学部増設 学部増設 研究科増設	国際医療福祉大学 国際医療福祉大学 国際医療福祉大学大学院	医学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	特になし。
40	国際ビジネス学院	R3	組織変更（専門職大学新設）	かなざわ食マネジメント専門職大学	フードサービスマネジメント学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（かなざわ食マネジメント専門職大学フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科） 既設専門学校の学生生徒等納付金収入に過度に依存せず、新設校の収支改善に努めること。
41	越原学園	R1	学部増設	名古屋女子大学	健康科学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（名古屋女子大学文学部児童教育学科）
42	駒澤学園	H30	学部増設	駒沢女子大学	看護学部	特になし。	特になし。	評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。 会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・中期計画の変更）】 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（駒沢女子短期大学保育科）
43	相模女子大学	R2	研究科増設	相模女子大学大学院	社会起業研究科(P)	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
44	佐久学園	R3	学部増設	佐久大学	人間福祉学部	特になし。	特になし。	理事の選任条項上の欠員があることから、その構成と寄附行為との整合性を図るよう対応すること。 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 登記が遅延していたことから、今後は寄附行為の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。（資産総額変更登記） 未整備の規程を整備すること。（資産運用に関する規程） 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（佐久大学人間福祉学部人間福祉学科）
45	札幌大学	R1	短大の学科増設	札幌大学女子短期大学部	こども学科	特になし。	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	理事と監事が別法人等で上下関係にあることから、利益相反を適切に防止することができる者を選任するなど、監事の独立性を担保できるよう見直すこと。 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
46	佐藤栄学園	H29	学部増設	平成国際大学	スポーツ健康学部	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
47	三育学院	R2	大学院新設	三育学院大学大学院	看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
48	山陽学園	H30	学部増設	山陽学園大学	地域マネジメント学部	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
49	至善館	H30	法人新設(大学院大学新設)	大学院大学至善館	イノベーション経営学術院(P)	特になし。	特になし。	未整備の規程を整備すること。（役員退職金支給規程）
50	四天王寺学園	R1 R2	学部増設 研究科増設	四天王寺大学 四天王寺大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
51	四徳学園	R1	学部増設	長野保健医療大学	看護学部	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
52	修道学園	H29	学部増設	広島修道大学	健康科学部	特になし。	特になし。	特になし。
53	修文学院	R2	学部増設	修文大学	医療科学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（修文大学健康栄養学部管理栄養学科、修文大学短期大学部幼児教育学科第一部）
54	秀明学園	H29	学部増設	秀明大学	看護学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（秀明大学看護学部看護学科）
55	淳心学園	H29	大学新設	北海道千歳リハビリテーション大学	健康科学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
56	順天堂	R1	学部増設	順天堂大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	特になし。
57	松蔭学園	H29	学部の学科増設	松蔭大学	コミュニケーション文化学部子ども学科	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に努めること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（松蔭大学コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、子ども学科、観光メディア文化学部観光文化学科、メディア情報文化学科）
58	昌賢学園	R3	学部増設	群馬医療福祉大学	医療技術学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（群馬医療福祉大学短期大学部医療福祉学科）
59	常翔学園	R2 R2	学部増設 学部増設	摂南大学 広島国際大学	農学部 健康スポーツ学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（広島国際大学健康科学部医療福祉学科）
60	湘南ふれあい学園	R1 R3	大学院新設 学部増設	湘南医療大学大学院 湘南医療大学	保健医療学研究科（M） 薬学部	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に努めること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（湘南医療大学薬学部医療薬学科）
61	神野学園	R2	学部増設	岐阜医療科学大学	薬学部	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
62	須賀学園	R1	短大の学科増設	宇都宮短期大学	食物栄養学科	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(宇都宮短期大学人間福祉学科)
63	駿河台大学	R2	学部増設	駿河台大学	スポーツ科学部	特になし。	特になし。	特になし。
64	青淵学園	H30 R1 R3	学部増設 学部の学科増設 学部の学科増設	東都大学 東都大学 東都大学	管理栄養学部 幕張ヒューマンケア学部理学療法学科 幕張ヒューマンケア学部臨床工学科	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(東都大学幕張ヒューマンケア学部臨床工学科、管理栄養学部管理栄養学科)
65	聖カタリナ学園	H29	学部の学科増設	聖カタリナ大学	人間健康福祉学部看護学科	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(聖カタリナ大学人間健康福祉学部社会福祉学科)
66	清泉女学院	R1 R3	学部増設 大学院新設	清泉女学院大学 清泉女学院大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
67	先端教育機構	R3	研究科増設	社会情報大学院大学	実務教育研究科(P)	特になし。	特になし。	特になし。
68	園田学園	R3	学部増設	園田女子大学	経営学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(園田学園女子大学人間教育学部児童教育学科、経営学部ビジネス学科)
69	タイケン学園	H30	学部増設	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部(通学課程)	備付け及び閲覧に供すべき財務関係書類等のうち備付け及び閲覧に供されていない書類があることから、速やかに備付け及び閲覧に供すること。(役員に対する報酬等の支給の基準)	特になし。	学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
70	大東文化学園	H30	学部の学科増設	大東文化大学	スポーツ・健康科学部看護学科	特になし。	特になし。	未整備の規程を整備すること。(役員退職金支給規程)
71	高木学園	R1 R3	組織変更(大学新設) 学部の設置者変更	福岡国際医療福祉大学 福岡国際医療福祉大学	医療学部 福岡看護学部	特になし。	特になし。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
72	高崎健康福祉大学	R1	学部増設	高崎健康福祉大学	農学部	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。
73	中央学院	H29	学部増設	中央学院大学	現代教養学部	特になし。	特になし。	特になし。
74	中京学院	R2	法人新設（大学及び短大の設置者変更）	中京学院大学 中京学院大学 短期大学部	経営学部、看護学部 健康栄養学科、保育科	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（中京学院大学短期大学部保育科）
75	調布学園	R1	学部増設	田園調布学園大学	人間科学部	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。	特になし。
76	筑波学院大学	R1	法人新設（大学の設置者変更）	筑波学院大学	経営情報学部	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 未整備の規程を整備すること。（役員退職金支給規程）
77	津田塾大学	H29	学部増設	津田塾大学	総合政策学部	特になし。	特になし。	未整備の規程を整備すること。（役員退職金支給規程）
78	都築学園	R2 R2 R3	学部増設 大学院新設 大学院新設	第一薬科大学 日本薬科大学 大学院 第一薬科大学 大学院	看護学部 薬学研究科 (D) 薬学研究科 (D)	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（第一薬科大学薬学部漢方薬学科、神戸医療福祉大学人間社会学部社会福祉学科）
79	都築第一学園	R1	大学院新設	横浜薬科大学 大学院	薬学研究科 (M) (D)	特になし。	特になし。	学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
80	鉄蕉館	R1	大学院新設	亀田医療大学 大学院	看護学研究科 (M)	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
81	電子学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	情報経営イノベーション専門職大学	情報経営イノベーション学部	特になし。	特になし。	特になし。
82	東京国際大学	R3	学部増設	東京国際大学	医療健康学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに往うこと。	特になし。	特になし。
83	東京農業大学	H29	学部増設	東京情報大学	看護学部	備付け及び閲覧に供すべき財務関係書類等のうち備付け及び閲覧に供されていない書類があることから、速やかに備付け及び閲覧に供すること。（寄附行為）	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・前年度決算）】

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
84	東北医科薬科大学	H28	学部増設	東北医科薬科大学	医学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(東北医科薬科大学薬学部生命薬科学科)
85	東北学院	H30	学部の学科増設	東北学院大学	文学部教育学科	特になし。	特になし。	理事及び評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
86	常磐大学	H30	学部増設	常磐大学	看護学部	備付け及び閲覧に供すべき財務関係書類のうち備付け及び閲覧に供されていない書類があることから、速やかに備付け及び閲覧に供すること。(寄附行為)	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(常磐短期大学キャリア教養学科)
87	徳洲会	R2	法人新設(大学新設)	湘南鎌倉医療大学	看護学部	特になし。	特になし。	特になし。
88	富澤学園	R3	学部の学科増設	東北文教大学	人間科学部人間関係学科	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(東北文教大学短期大学部現代福祉学科)
89	豊田学園	R1 R3 R3	大学新設 学部新設 大学院新設	岐阜保健大学 岐阜保健大学 岐阜保健大学大学院	看護学部 リハビリテーション学部 看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科)
90	中西学園	H30	学部増設	名古屋学芸大学	看護学部	特になし。	特になし。	特になし。
91	永原学園	H30	学部増設	西九州大学	看護学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(西九州大学健康福祉学部社会福祉学科)
92	中村産業学園	H30	学部増設	九州産業大学	人間科学部	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・前年度決算・前年度監査報告)】
93	永守学園	R2 R2	学部増設 研究科増設	京都先端科学大学 京都先端科学大学大学院	工学部 工学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(京都先端科学大学バイオ環境学部食農学科、工学部機械電気システム工学科)
94	奈良学園	R1	学部の学科増設	奈良学園大学	保健医療学部リハビリテーション学科	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
95	南山学園	R1	研究科増設	南山大学大学院	法学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
96	新潟総合学院	R2 R3	組織変更(専門職大学新設) 学部増設	開志専門職大学 開志専門職大学	事業創造学部、情報学部 アニメ・マンガ学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科)
97	新潟総合学園	H30	大学新設	新潟食料農業大学	食料産業学部	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	特になし。	特になし。
98	西大和学園	R2 R3	学部増設 学部増設	西大和大学 西大和大学	理工学部 社会学部	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。	学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
99	新田塚学園	H29	大学新設	福井医療大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
100	日通学園	H29	学部の学科増設	流通経済大学	スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。
101	二戸学園	H29 R3	大学新設 大学院新設	岩手保健医療大学 岩手保健医療大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 未整備の規程を整備すること。(役員退職金支給規程)

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
102	日本医療大学	R3	学部の学科増設	日本医療大学	保健医療学部 臨床検査学科	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
103	日本教育財団	H30 R1 R2 R3	組織変更（大学新設） 専門職大学新設 専門職大学新設 専門職大学新設	東京通信大学 国際ファッション専門職大学 東京国際工科専門職大学 名古屋国際工科専門職大学、大阪国際工科専門職大学	情報マネジメント学部、人間福祉学部 国際ファッション学部 工科学部 工科学部、工科学部	特になし。	学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。	理事に教学関係者が少ないことから、理事構成について検討の上、教学側の意見が適切に反映し得る体制を構築すること。 学校法人の公共性に鑑み、評議員を複数の属性から幅広く選任することにも留意し、その構成について見直すこと。 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、設置校間での学生還元に関する平等性も考慮しつつ、同納付金の学生への還元を図ること。 各部門における支出管理を徹底すること。また、各部門の予算に変動が生じた際には、中長期的な財務計画に速やかに反映すること。 内部監査及び監事監査の趣旨・目的の違いを踏まえて適切に監査を実施すること。
104	日本福祉大学	H29 R2 R3	学部増設 研究科増設 研究科増設	日本福祉大学 日本福祉大学大学院 日本福祉大学大学院	スポーツ科学部 看護学研究科(M) スポーツ科学研究科(M)	特になし。	特になし。	特になし。
105	二本松学院	R2	大学院新設	京都美術工芸大学大学院	工芸学研究科(M)	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
106	ノートルダム女学院	H29	学部増設	京都ノートルダム女子大学	現代人間学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
107	柏専学院	R3	学部の学科増設	新潟産業大学	経済学部経済経営学科（通信教育課程）	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
108	濱名山手学院	R2	大学の学部の設置者変更	関西国際大学	現代社会学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	教学監査が行われていないことから適切に実施すること。
109	東日本学園	R1	学部増設	北海道医療大学	医療技術学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科）
110	広島文化学園	H30	学部増設	広島文化学園大学	人間健康学部	特になし。	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
111	福岡学園	H29 R3	大学新設 大学院新設	福岡看護大学 福岡看護大学 大学院	看護学部 看護学研究科 (M)	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(福岡医療短期大学歯科衛生学科)
112	藤田学院	R1	研究科増設	鳥取看護大学 大学院	看護学研究科 (M)	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・前年度監査報告)】 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
113	文京学園	R3	研究科増設	文京学院大学 大学院	看護学研究科 (M)	特になし。	特になし。	経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。
114	朴沢学園	H29	学部の学科増設	仙台大学	体育学部子ども運動教育学科	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・前年度決算)】
115	北杜学園	R1	短大の学科増設	仙台青葉学院 短期大学	現代英語学科	特になし。	特になし。	特になし。
116	北陸大学	H29	学部増設	北陸大学	医療保健学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(北陸大学薬学部薬学科)
117	松商学園	H29	学部増設	松本大学	教育学部	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
118	松本学園	R3	大学新設	松本看護大学	看護学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(松本短期大学介護福祉学科)
119	松山大学	R2	研究科増設	松山大学大学院	法学研究科 (M)	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	未整備の規程を整備すること。(役員退職金支給規程)
120	武庫川学院	R2	学部増設	武庫川女子大学	経営学部	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(武庫川女子大学音楽学部演奏学科、武庫川女子大学短期大学部英語キャリア・コミュニケーション学科、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科)
121	武蔵野大学	R1	研究科増設	武蔵野大学大学院	工学研究科 (M)	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(代表権登記)	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。	特になし。
122	睦学園	R2	研究科増設	兵庫大学大学院	看護学研究科 (M) (D)	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
123	明海大学	R1	学部増設	明海大学	保健医療学部	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・今年度補正予算）】 理事と監事が別法人等で上下関係にあることから、利益相反を適切に防止することができる者を選任するなど、監事の独立性を担保できるよう見直すこと。
124	目白学園	H30 R1	学部増設 短大の学科増設	目白大学 目白大学短期大学部	メディア学部 歯科衛生学科	特になし。	特になし。	特になし。
125	本山学園	R2	組織変更（専門職大学新設）	岡山医療専門職大学	健康科学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科、作業療法学科）
126	桃山学院	H30	大学の設置者変更	桃山学院教育大学	人間教育学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・前年度監査報告）】
127	安田学園	H30	研究科増設	安田女子大学大学院	看護学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	特になし。
128	ヤマザキ学園	R1 R3	専門職短期大学新設 大学院新設	ヤマザキ動物看護専門職短期大学 ヤマザキ動物看護大学大学院	動物トータルケア学科 動物看護学研究科(M)	特になし。	特になし。	評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。 経常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に努めること。 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
129	悠久崇徳学園	R1	組織変更（大学新設）	長岡崇徳大学	看護学部	特になし。	特になし。	財務状況に関する複数の比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。 未整備の規程を整備すること。（役員退職金支給規程）
130	行吉学園	R1	研究科増設	神戸女子大学大学院	看護学研究科(M)(D)	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（神戸女子短期大学幼児教育学科）
131	吉田学園	H29	学部の学科増設	札幌保健医療大学	保健医療学部 栄養学科	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科）
132	立正大学学園	R3	学部増設	立正大学	データサイエンス学部	登記が遅延していたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。（代表権登記）	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・中期計画の変更）】

NO	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	指摘事項		
						法令違反	是正	改善
133	立命館	H30	学部の学科の増設	立命館大学	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	特になし。	特になし。	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(立命館大学国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科、グローバル教養学部グローバル教養学科)
134	龍谷大学	H30	研究科増設	龍谷大学大学院	農学研究科(M)(D)	特になし。	特になし。	特になし。
135	柳城学院	R2	大学新設	名古屋柳城女子大学	こども学部	財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 登記が遅延していたことから、今後は寄附行為の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。(資産総額変更登記) 未整備の規程を整備すること。(役員退職金支給規程) 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(名古屋柳城女子大学こども学部こども学科)
136	和歌山信愛女学院	R1	大学新設	和歌山信愛大学	教育学部	特になし。	特になし。	特になし。
137	渡辺学園	H30	学部の学科増設	東京家政大学	健康科学部リハビリテーション学科	特になし。	特になし。	会議運営に関し、寄附行為に基づき適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序(・中期計画の策定)】
138	和洋学園	H30	学部増設	和洋女子大学	看護学部	特になし。	特になし。	近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。